

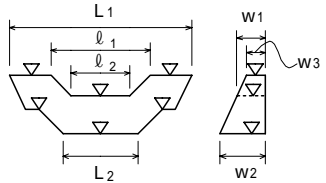
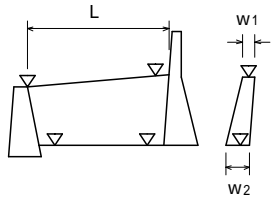
# 出来形管理基準及び規格値 第8編 砂 防 編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
8 砂 防 編	1 砂 防 え ん 堤	3 工 場 製 作 工	4		鋼製えん堤仮設材製作 工	部	± 3 ..... ℓ 10 ± 4 ..... ℓ > 10	
						材		部材長 ℓ ( m )
8 砂 防 編	1 砂 防 え ん 堤	8 コ ン ク リ ー ト え ん 堤 工	4		コンクリートえん堤本体 工	基 準 高	± 30	
						天端部 堤 幅	$W_1, W_3$ $W_2$	- 30
						水通しの幅	$ℓ_1, ℓ_2$	± 50
						堤 長	$L_1, L_2$	- 100
8 砂 防 編	1 砂 防 え ん 堤	8 コ ン ク リ ー ト え ん 堤 工	6		コンクリート側壁工	基 準 高	± 30	
						幅	$W_1, W_2$	- 30
						長 さ	L	- 100

: 出来形管理図表を作成する。

: 設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面の寸法表示箇所を測定。		
図面の表示箇所を測定。		
1. 図面の寸法表示箇所を測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。		

# 出来形管理基準及び規格値 第8編 砂防編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
8 砂防編	1 砂防えん堤	8 コンクリートえん堤工	8		水叩工	基準高	± 30	
						幅 w	- 100	
						厚 さ t	- 30	
						延 長 L	- 100	
8 砂防編	1 砂防えん堤	9 鋼製えん堤工	5	1	鋼製えん堤本体工 (不透過型)	水 通 し 部	堤 高	± 50
							長 さ $l_1, l_2$	± 100
							幅 $w_1, w_3$	± 50
							下流側倒れ	± 0.02H <sub>1</sub>
						袖 部	袖 高	± 50
							幅 $w_2$	± 50
							下流側倒れ	± 0.02H <sub>2</sub>
8 砂防編	1 砂防えん堤	9 鋼製えん堤工	5	2	鋼製えん堤本体工 (透過型)	堤長 L 格	± 50	
						堤長 $l$ 格・B・L	± 10	
						堤幅 W 格	± 30	
						堤幅 w 格・B・L	± 10	
						堤幅 w A	± 5	
						高さ H 格・B・L	± 10	
						高さ H A	± 5	

: 出来形管理図表を作成する。

: 設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位: mm

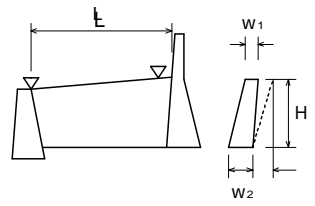
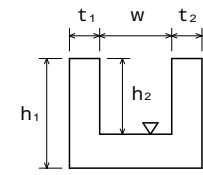
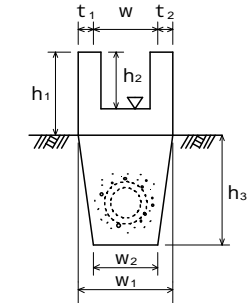
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。</p>		
<p>1. 図面の表示箇所測定する。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。</p>		
<p>(備考) 格: 格子型鋼製砂防ダム A: 鋼製スリットダム A型 B: 鋼製スリットダム B型 L: 鋼製スリットダム L型</p>		

# 出来形管理基準及び規格値 第8編 砂防編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
8 砂防編	1 砂防えん堤	9 鉄製えん堤工	6		鋼製側壁工	堤 高	± 50
						長 さ L	± 100
						幅 $w_1, w_2$	± 50
						下流側倒れ	± 0.02 H
						高さ h	
h < 3 m	- 50						
h ≥ 3 m	- 100						
8 砂防編	2 流路	5 床固め工	8		魚道工	基 準 高	± 30
						幅 w	- 30
						高さ $h_1, h_2$	- 30
						厚 さ $t_1, t_2$	- 20
						延 長 L	- 200
8 砂防編	3 斜面対策	6 山腹水路工	4		山腹明暗渠工	基 準 高	± 30
						厚 さ $t_1, t_2$	- 20
						幅 w	- 30
						幅 $w_1, w_2$	- 50
						高さ $h_1, h_2$	- 30
						深 さ $h_3$	- 30
						延 長 L	- 200

: 出来形管理図表を作成する。  
: 設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>1. 図面に表示してある箇所にて測定。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。</p> 		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。なお、製品使用の場合は、製品寸法については規格証明書等による。</p> 		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。(なお製品使用の場合は、製品寸法は、規格証明書等による)</p> 		

# 出来形管理基準及び規格値 第8編 砂 防 編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	7 地 下 水 排 除 工	4		集排水ボーリング工	削孔深さ ℓ	設計値以上
						配置誤差 d	100
						せん孔方向	±2.5 度
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	7 地 下 水 排 除 工	5		集水井工	基準高	±50
						偏 心 量 d	150
						長 さ L	- 100
						巻立て幅 w	- 50
						巻立て厚さ t	- 30
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	9 抑 止 杭 工	6		合成杭工	基準高	±50
						偏 心 量 d	D / 4 以内 かつ 100 以内

: 出来形管理図表を作成する。

: 設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
全数	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
全数測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
全数測定。		